

東北

東北支社

〒980-0802
仙台市青葉区二日町3-10
グラン・シャリオビル3階
電話 022-261-4289
FAX 022-261-4280

touhoku
@kensetsunews.com

新たな学際領域を確立

東北工業大学(仙台市)が4月下旬、建築学科を工学部から独立させて『建築学部』を新設することを文部科学省に届け出た。提出書類の確認を経て、6月下旬に受領される見通し。これにより、2020年4月には北関東以北で初となる建築学部が誕生する。『建築』に求められる領域がさらに多様化していく将来を見据え、工学にとどまらない新たな学際領域を確立するとともに、より充実した建築教育を目指す。建築学生を専門とする渡邊浩文副学長と建築学部長に就任予定の石井敏建築学科長同席の下、今野弘学長に建築学部新設の目的や展望などを聞いた。



学部開設の経緯と目的について

「建築学部開設の構想から約10年、学内外の多くの関係者の協力を得ながら時間を掛けて準備を行い、ようやくここまでたどり着いた。建築学科は工業大学の主軸となる工学部の1学科としていたが、

東北工業大学
今野 弘学長に聞く

「既存の工学、ライフデザイン両学部に新学部を加えた3学部体制という本学が発展するための礎を築き上げる」ことができる。今後は『建築学』を独立しながらも学際的な広がりを持つ学問として位置付

け大切にしていることを社会にPRしながら、学部の特徴をさらに引き出していきたい。学生は学問に対するプライドが「層強く感じられるようになり、モチベーションの向上が期待される」

学部執行方針について

「現在の建築学科の特徴は、学問を構成する歴史・意匠(デザイン)・構造・環境・生産といった各分野を専門とする教授陣と教育体制が整っているが、今後の社会環境の変化などを見据え、まずは環境工学の中の建築環境心理生理と、構造とデザインをつなぐ建築生産・構法の2つの研究分野を追加し、計16研究室体制とする。既存の研究分野をつなぐ領域を補強し、連続的に幅広い学べる環境を整える」

「これだけ建築に関する多くの領域を工学部にそろえている大学は数少なく、東北では建築について専門的に幅広く学べる唯一の大学となる。学生の定員も15人プラスして135人に増やす。より多く

4月に建築学部新設

の学生に建築を学んでもらい、社会に送り出していきたい」

「1966年の創設以来、建築学科から約8000人の卒業生を送り出してきた。大学は、卒業後に社会に出た人の行動で評価される。社会の第一線で活躍しているOBを積極的に講師として招き、生の声を伝えてもらうことで、学生に理想の将来像を描く後押しをしてもらいたい」

「東北の中で建築学の大きな拠点になるということは、他地域からも目を向けてもらえるきっかけになる。著名人を講師に招きやすくなる、東北から世界への情報発信の強化も期待できる」

「在学生の98%が東北出身であり、基盤を置く東北に技術者を輩出させることが本学の使命だ。東日本震災からの復興や東北特有の気候・風土・文化、まちが抱えるさまざまな課題などを知ってもらった上で、世界や全国で活躍しつつ、生まれ育った地元・東北にも目を向けてもらい、建築の立場から各地域の課題を解決し、未来の社会に貢献する建築技術者・設計者を養成していきたい」